

田中

たなか

さやか



<https://tanakasayaka.seikatsusha.me/>

誰もが“私らしく生きるための政治”へ

品川・生活者ネットワーク NEWSNo.144
発行:品川・生活者ネットワーク
発行責任者:吉田由美子
発行日:2026年6月1日
〒142-0042 品川区豊町5-11-9 中村荘 101
TEL03-5751-7105/FAX03-5751-7106
メール:shinagawa@seikatsusha.net
HP: <https://shinagawa.seikatsusha.me/>

●品川・生活者ネットワーク田中さやかの活動を紹介します。

生活者ネットワークは、都内32の自治体であり、都議会議員1、区・市議会議員39の女性議員をもつ市民の政治ネットワークです。東京を、品川を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

区政にチャレンジ！ 田中さやかの決意

私は、子育て中の保護者であり、困りごとを抱える多くの市民、団体と向き合い共に施策や制度の改善を求めてきた前区議会議員です。これまで過ごしてきた子ども時代や、働く環境などにより PTSD を抱える当事者となりました。ですので、何よりも重視することは、一人ひとりの命や人権であり、一人ひとりの生活です。

誰もが、孤独や孤立、疎外感を抱かずに自分自身の人生に向き合い、生きられる社会を地域からつくっていきたくて活動をしています。特に教育現場や社会の中での子ども

たちが感じている生きづらさには心を痛めています。子ども若者が未来に希望の持てる地域社会をめざします。区議会議員在任中の情報公開請求では、「一部非公開」を不服として情報公開審議会まで持ち込み、「全文公開」が妥当とする審議会の判断を得て、情報が全公開されました。

2期8年の区議会議員の経験を生かして、情報公開の拡充と市民の声をもとにした政策立案とやり残した政策実現をめざします。

生活者ネットワークの3つのルール

ルール 1

議員は交代制（ローテーション）

ルール 2

議員報酬は市民の政治活動資金に

ルール 3

選挙はカンパとボランティア



東京ネットのよびかけ

田中さやか profile

■1982年東京都目黒区生まれ 43歳 ■2000年都立南高等学校（現東京都立美原高等学校）卒業 在学中からビジネス・プロダクションに所属し学業と両立 卒業後、アパレル会社で事務アルバイト ■2011年東日本大震災を機に、原発住民投票の署名集めや、さよなら原発デモ・品川区、大田区の放射能から子どもたちを守る会の勉強会・被災地瓦礫焼却の勉強会・ノンベクレル会等に参加、SNSでの発信をはじめ ■2013年「特定秘密保護法」に反対街頭アンケートを実施。その後に続く安保法制等の戦前帰帰を彷彿させる悪法に反対し、官邸前デモ等に子どもと共に参加。地域でも署名活動や周知活動を実施。 ■2015年4月 品川区議会議員選挙に初当選。独自会派/品川・生活者ネットワーク政調会長として活動を始める。 ■2019年品川区議会議員2期目当選 総務委員会、文教委員会、議会改革 ICT 推進会議等委員を歴任 ■2022年12月 品川区議会交渉会派/品川・生活者ネットワークを結成 品川・生活者ネットワーク幹事長 ■2023年品川区議会議員選挙3期目 挑戦 キャリアカウンセラー 子ども支援、地域交流、市民活動支援などボランティア活動を始動 家族:夫・娘(高校生)・息子(小学生) 保護猫2匹 品川区小山在住



サポーター募集中!! ●生活者ネットワークは、カンパとボランティアの政治活動を行っています。あなたも参加しませんか？

田中さやかの提案

子どもが安心して意見表明できる環境づくりを進めます

地域や学校、すまいるスクールや児童センターなど、子どもが過ごす場において、子どもが自分の意思を安心して発言できる、その声を丁寧に聴きとる環境があることは、子どもが安心して育つことができる社会の出発点だと考えます。

品川区では、子どもの人口は増加傾向にあります。しかし、子どもが過ごせる居場所は増えていません。子どもが安心して過ごし、地域で子どもを見守り、顔見知りの関係を築ける多世代交流の場をつくりたい。

情報公開は民主主義の要です

品川区にはこれまでも、市民への積極的な情報開示・情報提供を求めてきました。例えば、学校で起こる不適切指導や重大事態。保育園、すまいるスクールなどでの事故報告書については、情報公開のあり方を工夫し、再発防止に確実に活かすよう取り組んでいます。

また再開発事業では、地権者にも適切な情報提示や開示がされない事案が散見されます。市民の知る権利の保障を継続して求めています。

憲法をいかに、地域から戦争のない平和な世界の実現に向け取り組みます

最大の人権侵害であり、最大の環境破壊が戦争です。戦争のない平和を実現するためには、日本の加害を含めた戦争の歴史を学び、人権を知り、対話を重ねていくことが重要です。

品川区の戦争の記憶を語り継ぎ、平和憲法に掲げた立憲主義を再認識し、不断に憲法を語り活かしながら地域から世界に向けて発信し市民同士の繋がりを深めていきます。

▼ **誰もが** “ **私らしく生きるための政治** ” へ



川崎市子ども夢パークへ子どもたちを連れて

大切にしたい3つの間「空間」「時間」「仲間」

最近、まちづくりや防災対策あるいは計画の中で、健康な男性基準が見直され、女性の視点が不可避と意識が変わってきました。私田中さやかは、女性の視点と同じように、子どもの視点や意見が活かされた対策や計画、まちづくりが必要だと考えています。しかし、子どもたちの声は「聞いているよ」に留まっています。子ども自身がまちづくりに活かされているという実感はないのではないのでしょうか。子どもの視点を中心にしたまちづくりは、障がい者や高齢者、誰にとってもやさしい「まち」になると思います。

田中さやかは子どもに必要な3つの間を大切にしたいと考えています。それは「空間」「時間」「仲間」です。この3つを満たす居場所を区内につくりたいと思っています。一昨年から、公園課と清掃事務所に相談しながら緑道公園フェスティバル開催に取り組み始めました。これからは空き家や地域の空きスペースを活用しながら、行政とも連携して子どもや大人が一緒に集える居場所が増えるまちづくりを実現します。



東京・生活者ネットワーク主催「ユースチームフレイイベント」へ参加 チーム立ち上げに携わった



市民団体が定期主催する「品川パレード」へ現職区議会議員吉田ゆみことともに参加



前品川区議のいながき孝子とともに武蔵小山駅でも定期遊説を行っています



子どもにやさしいまち！
つくろう！
子どもの権利条例
田中さやか

